

全員参加の素晴らしい修学旅行でした！

第2学年特進ST・Sコース生のみなさん、カナダへの修学旅行お疲れ様でした。100名全員が参加し、最後までしっかり活動できた、とても素晴らしい修学旅行でした。最終日の夜に3時間以上語りたかったのですが、みなさんが嫌そうな顔をしていたので(笑)、残りはこの紙面にて伝えたいと思います。

この修学旅行において生徒全員で取り組んだことの代表的なものが、フェアウェルパーティーとカーニー高で行ったパフォーマンスですね。様々なトラブルがありながらも、練習以上の最高のパフォーマンスが出来たと思います。特に世代が同じこともあって、カーニー高の生徒たちはとても盛り上がっていて、その大きな歓声や喜んでいる笑顔を見てとても感動しました。みなさんにとっては一生懸命やったからこそ、もっとこう出来たのではないかと反省もあるかもしれませんが、**これだけのことを全員でやりきったことは是非自信に思っ**て欲しい。「世界に一つだけの花」を聞きたびに、全員で協働できたこの修学旅行を思い出して欲しいです。



このパフォーマンスもそうですし、そのほか保護者説明会、事前学習発表会など様々な場面で修学旅行実行委員が活躍してくれました。また、スピーチをしてくれた人も、いい修学旅行作りに大きく貢献してくれました。そういった人たちを最終日の夜に表彰しましたが、まずはその栄誉を大きく讃えたいと思います。

しかし、**目立った活躍をした人だけが頑張っていたわけではありません**。私たち教員が見ていないところでも、それぞれが自分の抱えている課題を乗り越えたり、友達のために頑張ったり、様々な良い行いがあったことと思います。私が「最優秀賞はここにいる全員です」と言ったのは、一つは全員が参加してくれたからこの素晴らしい修学旅行が達成できた、ということですが、もう一つ、目立ったものも影の努力も全部含めて、全員が頑張っていたから、参加者全員のことを讃えたいという気持ちからでもあります。

参加した全員が、「**自分はこの修学旅行を乗り越え、最優秀賞を獲得したんだ!**」ということに自信を持ち、今後の生活の支えにしてもらいたいと思います。

主体性をもって多様な人々と協働する態度

私は今までにも『協働』という考え方の重要性を話してきましたが、どうでしょうか、みなさんはこの修学旅行でさらにその重要性を感じてくれたでしょうか。カナダにはまさに多様な人々がいましたね。UBC では100か国以上の国から学生たちが学びに来ているという話をしていました。みなさんがホームステイしたご家庭も、様々な国出身の方がいらっしゃったのではないのでしょうか。カナダ・バンクーバーには、そういった世界各国の人々を受け入れる風土・温かさがあります。

今回、私が感じたことは、「**言葉の壁は大きいし、小さい**」ということです。私もホームステイをしましたが、私のつたない英語では思うように自分の言いたいことを伝えることができませんでした。ふと頭に浮かんだことが、英語でどう表現しているかわからず、言葉により周りの人との生活が成り立っていることを改めて

感じました。しかしその反面、細かい会話まで出来なくてもファミリーの優しさは伝わってきます。一緒に驚いたり、笑い合ったりすることは出来る。**気持ちが大事で、気持ちは伝わるのだ**ということも感じました。

私はこれからも、多くの人とコミュニケーションが取れるようになるために、英語を勉強していきたいと思っています。みなさんも英語を中心とした学習意欲が、さらに向上したのではないのでしょうか。しかし、せっかく獲得した知識は実践してはじめて意味があるものになるのだし、学力を向上させるためにも、進路を実現させるためにも、学力の土台となり、またそれを発展させていくことにも寄与する「主体性をもって多様な人々と協働する態度」が重要です。ちょっと自分とは価値観が違うものや、自分が知らないものなどに対して、自分で壁を作ってしまい、拒絶したり排除したりするのではなく、相手のことを理解しようと努め、多様性を受け入れること。そうすれば自分の世界が広がり、様々な人々との関わりの中で知識も人間性も向上します。いつも言っていますが、「世界中の人々とコミュニケーションを取れる人」を目指してください。世界を一つにしていきましょう。カーニー高の校長が仰っていた「**You are future!**」という言葉は、私たちの胸に深く刻まれていますね。みなさんはそれぞれ「世界に一つだけの花」です。**自分に自信を持ち、自分の花を咲かせ、それを世界中の人々のために役立てられるようになりましょう。**



さて、グローバルな話をしましたが、『協働』は身近な場所でも実践できます。例えば今回の修学旅行の例で言えば、飛行機やバスを降りた後、大勢の人のスーツケースが一度に出てきました。みなさんはそれに対し、自分のものだけを探すのではなく、明秀日立のタグがついているものを集め、声をかけ合い、みんなで協力していました。私は立場が一番最後に来ることが多かったですが、私のものはいつも確保されていました。まあ、最終日の夜の大事なタイミングで、私のスーツケースがロストしてしまうというオチもありましたが(笑)

これも目立ったところだけではなく、細かいところまで見ていけば、本当に多くの人々の協力があって、この修学旅行が成り立っていることが分かります。すべての人に感謝する気持ち、自分も人のためにできることをしようという心、カナダでさらに学べた『協働』をこれからも実践していきましょう。

さあ、3年生0学期です！！

今回の修学旅行はとてもいい修学旅行でしたが、当然何もなかったわけではありません。多少は注意したこともありますが、みなさんが自分で気付いて欲しいということで黙っていたものもあります。言われなかったからこれは大丈夫なんだ、などという稚拙な判断ではなく、その場はどうだったのか、これからどうしていくべきかは改めて考えて欲しいと思います。修学旅行という特別な空間だから認められていたこともあり、これから再び始まる学校生活においては切り替えが必要です。

それとは反対に、ここで出来たことで是非学校生活でも実践して欲しいものも多くあります。カナダのファミリーだったから出来た、修学旅行の高揚感で出来た、といったことでも、**自分の意識の持ちようで日常の学校生活でも実践することは可能**です。修学旅行だけが、別の特別なものというわけではありません。みなさんの普段の生活・心がけが良かったから良い修学旅行が出来たのだし、すべてはつながっています。

みなさんは修学旅行改め「卒業旅行」を終えましたので、高校生を卒業して「受験生」となります。1月から始まるのは**3年生0学期**です。確かに大学受験は辛くて厳しい面はありますが、こんな素晴らしい修学旅行が出来たみなさんであれば、必ずや受験も乗り越えてくれると信じています。これからも一緒に頑張っていきましょう。